



生活クラブ北海道 機関誌

チュブとはアイヌ語で太陽、月の意味

4月号

2024 No. 495



会場は本郷通商店街にある店舗。お汁粉やドリンク、チヂミなどを販売 (リサイクルと環境雑貨の店 えこふりい)



美味しそうな韓国料理の惣菜がたくさん! (仕出し弁当 かまら〜ど)



パンなどの販売や、ワーカーズの仕事を紹介 (ワーカーズ地域会第3)



来場者へ消費材についてたっぷり語り加入を呼びかけたミニ展示説明会 (生活クラブ白石支部)



政治・環境・教育など気になっていることをシールアンケート (市民ネット白石)



大人も夢中になる積み木あそび (子育て支援ワーカーズみるきい)



えんげ
嚥下障害を予防する口腔体操 (たすけあいワーカーズむく)

初 開 催

白石 地域に発信! 私たちの活動
あつまるしえ

生活クラブやワーカーズ・コレクティブ、市民ネットワーク北海道の活動を地域の方々に知らせ交流を深めることを目的に「あつまるしえ」を開催。事前に1500部のチラシをポスティングしてたくさんの来場者につながり、久しぶりに会う組合員や友人を誘って来た組合員の姿も見られました。今後もより多くの方々に来ていただけるよう工夫を凝らしながら、年に数回開催する予定です。来場をお待ちしています。

(主催: 白石支部地域連絡会 2/28)

INDEX

4月の一斉チラシまき
さあ、仲間づくりをしよう 生活クラブを上げよう 3

2024年度支部大会報告 4~5
白石支部/江別支部/東支部/北支部/いしかり支部

もっと利用しよう!! 私たちの豚肉 6

2024年度生活クラブ福祉基金助成先決定 7
豊かな地域づくりをめざして

生活クラブ Wind

組織活動

「コロナ禍で希薄になった人と人とのつながり、様々な社会情勢による物価高、働く女性の増加など生活クラブの活動に参加する人は減少の一途です。生活クラブの根幹である支部活動において、本部組織委員会に参加する運営委員長もほとんどの支部で出ていないのが現状です。24年度は本部体制を改革し、組織委員会の役割を、理事会のもと組織活動推進会議で担い、運営委員の多少に関わらず各支部が同じように活動を進めやすい体制を作ります。より多くの組合員が活動に参加できるように、活動の楽しさや意義が伝わる内容を組み立てます。詳しくは、チユプ5月号で説明します。

消費委員会

今年も「みんなで監視活動」がスタートしました。この活動は、自生するナタネが遺伝子組み換え（GM）ではないかを調べる簡易検査を行うものです。2006年から続けてきましたが、20年に初めて小樽港でGM自生ナタネを見つけました。「まさか、出ないよね？」と毎年調べていましたが、実際に見つかったと大変な衝撃を受けました。その後も組合員から寄せられた情報を参考に各支部で調査を続けた結果、21年に手稲区の公園内で見つかっています。皆さんのまわりで黄色い花を見かけませんか？ 私たちの食生活を支える北海道の農産地を守るために、ご協力お願いします。

原発ゼロ・市民エネルギー委員会

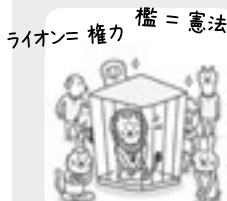
2月にNUMOから公表された寿都・神恵内における文献調査報告書（案）では、今年1月に起きた能登半島地震について全く触れられていませんでした。また、深地層処分地の適地を示した「科学的特性マップ」では、能登半島地震で大きな被害を受けた海岸部が適地とされています。寿都、神恵内に適地があるとの判断を今一度見直すべきです。私たち生活クラブは、「北海道マウコピリカ宣言」この自然があつて幸せ」に賛同して「北海道に核のゴミはいりません」と宣言する活動を昨年より始めています。賛同をお待ちします。



参加はこちらから

文化委員会

憲法紙芝居「檻の中のライオン」の出前講座をおこなっています。委員手作りの紙芝居は、コロナ禍による中断はありましたが2019年の初演以来22回となりました。18ある支部のうち、これまで11支部で開催。個人、グループ、支部、いろいろなところから呼んでいただきました。15分の紙芝居を軸にフリートークを大事にしています。「私たちの暮らしと憲法はつながっている！」そんなオドロキとカンドウの瞬間に出会えます。2人以上集まればどこへでも行きます。皆さん、ぜひ呼んでください。



3月の理事会から

2024年度の改選期における役員選挙について、役員定数、選挙区および選挙方法を決定しました。

3月15日に行われた第一回役員選挙委員会の報告があり、役員選挙の公示や役員選挙委員長が決定したとありました

豊平における「多世代の居場所づくり」から支え合い・たすけあう地域づくりの取り組みをするにあたり、将来的な展望を踏まえた具体的なイメージ等と実行計画について提案があり決定しました。

「北海道協議会」の設立（3月9日）と2024年度の協議会活動計画について承認しました。

国に対し『ALPS処理水』の海洋放出中止と新たな汚染水の発生を抑える抜本対策を求める要請署名」を他団体とともに取り組むことを決定しました。

生活クラブ本部の清掃について、NPO法人コロポックルさっぽろに委託する方向との報告がありました。

4月の一斉チラシまき

さあ、仲間づくりをしよう 生活クラブを広げよう

2023年度はコロナ禍での活動制限がなくなり、支部の活動が緩やかに戻ってきました。2024年度もいろいろな拡大活動が支部で計画されていますが、拡大のスタートは全組合員でおこなう「4月の一斉チラシまき」です。たくさんの新しい仲間を生活クラブに迎えていきましょう。



食べ続けるためには 多くの仲間が必要

組織活動推進担当理事 畑 玄理

2024年度が始まりました。各支部では生活クラブの仲間づくりに取り組むため、「4月の一斉チラシまき」を組合員へ呼びかけています。近隣や友人、知人に配布するカラーチラシは手元に届いているでしょうか。

現在、生活クラブの組合員である私たちの多くは、食品や食材の安全・安心を希求し、それらを適正かつ安定した価格で利用するため生活クラブの共同購入に参加しています。私たちが考える安全・安心は、「疑わしいものは使用しない」あるいは「使用したとしても必要最小限に留める」ことで守られています。私たちが共同購入している「消費材」の規格には、厳しい自主基準が設けられています。また、消費材の安全性や適正な価格は原料や産地、製法や工程、流通に至るまでといった消費材の素性を明らかにすることによって担保されます。いずれも生産者の理解と協力なくし

ては成り立ちません。

生産者は私たちのために土地や機械、時間、人を確保して消費材を生産しています。私たちには、そうして生産された消費材すべてを買い取り、消費する義務があります。そうでなくては私たちの共同購入は維持できません。共同購入を持続可能なしくみとするためには、消費材を利用する多くの仲間が必要です。

配送エリア内の組合員数は、コロナ禍での宅配需要の高まりを受けていったんは増加したものの、2024年3月現在は12,339人と大きく減少しており、共同購入を維持する人数としては依然として不足状態にあります。私たちが消費材を使い続けるために、まずは手元にあるチラシを近隣にまき、地域の人へ生活クラブを知らせていきましょう。また、積極的に友人や知人を紹介してください。

組合員みんなで
拡大をすすめよう！

友人・知人へ声かけ



食べる仲間を増やしよう

消費材サンプルを使う

トマトケチャップ



ホットケーキミックス



美味しさを良さを
知ってもらおう

チラシまき



地域に知らせよう

楽しい、美味しい
学べるイベント♪

拡大イベントに誘う



ミニ展示説明会

集まって見て買える



展示説明車あみーか



あみーかやミニ展では、消費材を手にとってお試し購入できます



◀ 生産者とのコラボ拡大

生産者の言葉で消費材の魅力とこだわりを知る体験型の拡大イベントです

つくっていくことを大切に

た。実出席は12人、書面議決書は74人
行し、ようやく以前のような活動に戻れ
消費材利用率の低下など厳しい現状に向
に立ち返る時と気持ちを奮い立たせて伝
わりができました。

的にすすめているまちづくり活動では、「ゲ
ノム編集トマトの種苗を受け取らないで」
の申し入れをはじめとして、市に5回要望
書を提出しました。出席した組合員からも
生活クラブは社会問題にもしっかり取り
組むべき」という意見があり、日々刮目し
て過ごさねばと気持ちを新たにしました。

2024年度は、組合員の増加だけではなく
横のつながりをつくっていくことを大
切に活動していきます。

(運営委員 鈴木 恭子)

東 2024年度の拡大重点エリアは苗穂地区

2023年度は「つながる笑顔、生
活クラブ」をテーマに活動しまし
た。紹介キャンペーンでは、みかん
缶やトマトケチャップ等の消費材
を支部が選び紹介セットをつくり、
24人に渡すことを目標にしました。
他支部からの紹介もあり目標人数

を達成でき、そのうち10人が加入しました。また、牛乳強化月間に合わせて6月
には、利用結集を目的にサツラク農協のおおがの大鋸さんを招き生産者交流会を開催。生産か
ら配達までの動画視聴等を通し、あらためて低温殺菌牛乳の優位性を確認しました。
10月には組合員同士の交流と地域の人たちとつながることを目的に、「ひがっちま
つりinハロウィン」を開催。実行委員会を立ち上げて子どもも大人も楽しめるアイデ
アをさまざま出し合い活気あるまつりとなり、130人以上の来場者で賑わいました。

2024年度の拡大は苗穂地区を重点エリアに設定して、展示説明車あみーかを活
用していきます。急務となっている豚肉の利用結集では本部プロジェクトメンバ
ーとともに、利用率52%をめざして連携しながら活動していくとの報告がありました。

(取材 / 川瀬)



3/13 伏古記念会館

— 2024年度 支部大会報告 —

2023年度の支部活動・決算の報告、2024年度の活動方針案・予算案について討議し決定す
る場として、3月8～23日、全18支部で支部大会が開催されました。事前に提出された
書面議決書と当日参加組合員の議決をもって執り行い、新年度へのスタートをきりました。
5支部の支部大会の様子をお伝えします。

いしかり 子育て世代の参加を促しながら拡大活動

2023年度は組合員が顔を合わせる機会を増やせるように活動を組み立てました。
5月に豚肉、8月には牛乳をテーマに料理講習会を開催し、消費材のおいしさを実感
しながら学ぶことができました。1月の「新規組合員歓迎会&組合員交流会」には、
新規・移動の3人を含めて13人が参加。『石けんハンドブック』を活用した講話や
実演を行い、交流会の試食後には参加者全員で石けんを使って後片付けをしました。

支部・ワーカーズ・市民ネットで構成する地域連絡会の活動が活発な点も、いし
かり支部の特徴です。6月に福祉を題材にした映画
上映会、8・9月には「こんなまちに暮らしたい」
という声を組合員から集めるなど予算要望に向け
て活動し、11月の要望書提出時には市長と意見
交換を行いました。

2024年度も引き続き、組合員が集える機会
を設けて顔が見える関係を構築し、生活クラブ
のある暮らしを楽しみながら拡げていきます。

(取材 / 敦賀)



3/22 花川南コミュニティセンター

白石 元気につながり 地域に生活クラブの輪をひろげよう

2023 年度は、対面でのイベントが実施しやすくなりました。2カ所に増えたくらぶラボでは、参加者みんなで料理を作ったりおすすめ消費材を試食したり、希望があった土曜日開催を初めて行うなど活発に活動し、楽しく交流することができました。また、生産者とのコラボ拡大では数年ぶりにおこなった体験型の企画が盛況で、紹介キャンペーンと連動して加入にもつながり、大きな成果がありました。

2024 年度のテーマは「元気につながり、地域に生活クラブの輪をひろげよう」です。推しの豚肉は利用人数 60%をめざして利用結集活動をすすめる。拡大活動の「4月の一斉チラシまき」では組合員がチラシをしっかりまけるよう、一人 10 枚の配布とする。昨年度以上にさまざまなイベントを企画し、組合員同士のつながりを強くしていきたい、と抱負が語られました。新年度の委員紹介では、くらぶのスタッフからも新委員となり、そのうち一人が消費委員長として活動するとの報告に、参加した組合員からは喜びの声が上がりました。

(取材 / 高橋)



支部大会議案書の表紙
3/13 札幌市産業振興センター

江別 横のつながりを

3月8日、野幌公民館にて開催しました。コロナが5類に移ると安心しましたが、組合員数の減少やき合う一年でもありました。今こそ原点をえ、努力を続け、次年度に続く人のつながりを

また、ワーカーズと協力しながら積極的



2023 年度 運営委員会メンバー

今ふたたび

会って 話して 楽しく交流 組合員のつながりを大切に

北 生活クラブを伝え 一人でも多く仲間を増やそう

2023 年度はコロナ禍前の活動にほぼ戻り、たくさんの組合員外が参加した生産者とのコラボ拡大など、実開催イベントを本格的に再開することができました。また、くらぶラボでは主要消費材の豚肉や牛乳などを味わいながら学習し、その様子を機関紙で発信するなど利用結集につながるよう活動。4月の一斉チラシまき、あみーかチラシまき、イベントお手伝い、エコロコーディネーターやエコロサポーターなど、支部活動を支えるたくさんの支部サポーターが多くの場面で活躍したとの報告がありました。

2024 年度は引き続き生活クラブを伝える機会をつくり、交流できる場としてのイベントを企画していきます。拡大の重点エリアは大型マンションがある、新しく移り住む人がいるなどのリサーチに基づき選定。紹介キャンペーンでは、課題である「紹介する側の組合員」をどうしたら増やせるのかをみんなで考え話す場を持ちたい、などの活動方針が示されました。始終、質問や意見がいろいろと出され、活発な支部大会となりました。

(取材 / 高橋)



3/16 北区民センター

もっと利用しよう !! 私たちの豚肉

生活クラブは(株)平田牧場と提携し、「豚1頭を食べきる」という一頭買いをしています。2月29日に開催した「豚肉まとめ集会」では、豚半身の枝肉を部位別に解体する豚肉解体講習会をおこない、あらためて生活クラブの豚肉の価値と美味しさ、一頭買いの意義を確認しました。

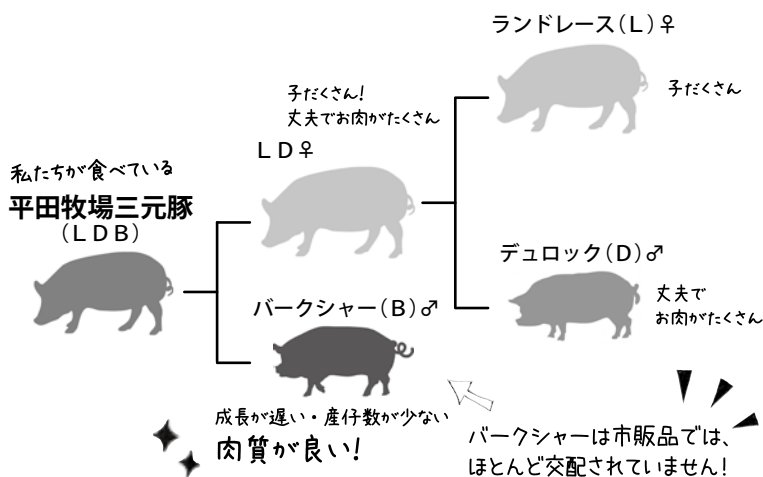
(主催：本部消費委員会 札幌エルプラザ)

積丹半島北東にある古平農場。きれいな空気、山から引く水、最良の環境の中で豚を育てています



生活クラブの三元豚は

市販の三元豚とは、かけ合わせている品種が違います！



飼料の安全性と国内自給の向上を追求し続けています

トウモロコシ ポストハーベスト農薬不使用のものを輸入し、使用

道産飼料用米 2009年から配合。現在は肥育前期 35%、肥育後期 45%

道産子実トウモロコシ 2023年12月より給餌、肥育前期で開始



見てびっくり！ 学んで納得

「豚肉解体講習会」でわかること

講習会ではモモやカタ、ロースなど、部位ごとに手作業で切り分けます。一頭の豚から取れる部位を目で見て、量感を確かめ、調理して試食します。

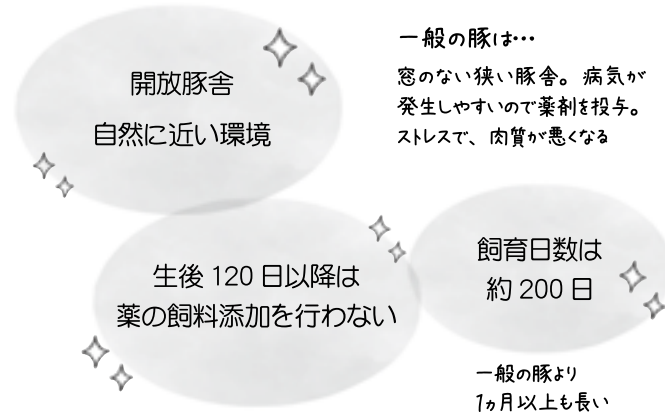


枝肉解体をする(株)平田牧場 札幌事業所の藤野さん

健康に育った豚は赤身が引き締まり、脂肪が適度についています。各部位を成形する時に出る端材は、消費材の「ヒキニク」や「三元豚切り落とし」になります。さまざまな部位を使っているの美味しいのはもちろん、バランスよく食べきるためにも積極的に利用しましょう！



健康で美味しい肉質の豚をつくることに一貫して取り組み、育てています



まるごと食べよう！

一頭買いが基本です

素性確かな豚肉に取り組むために、生活クラブでは提携当初から「一頭買い」をしています。平田牧場は飼育、加工、包装、流通まで一貫した生産管理を行っているので、一度も冷凍されない新鮮な精肉が私たちの元に届けられます。市場に左右されないの、価格も安定します。生産者にとっても持続可能な再生産が可能になる一頭買い。さまざまな部位をバランスよく食べましょう。

豚プロジェクトについて

今年度4月より、各支部から集まった生活クラブの豚肉を愛するメンバーで結成する「豚プロジェクト」が活動します。豚肉の利用を高めるためのアイデアを出し合い楽しく活動します。「豚プロ」の動きにもどうぞ期待！

豊かな地域づくりをめざして

福祉担当理事 小松 真理

生活クラブはなぜ

福祉に取り組むのか

協同組合はその発祥の時から、「みんなの力を合わせる」とにより、地域社会を良くしていく」というミッションを持っています。私たち生活クラブ北海道は協同組合として42年前に設立、組合員を増やしながら共同購入事業を安定させつつ、社会問題解決のために運動領域を広げてきました。この流れの中で、本格的に福祉に取り組んだのが2000年代です。福祉基金は、数年の組合員討議を経て2003年に創設しました。少子高齢化が加速するなど福祉のさまざまな課題が見えてくる中、国や企業に任せきるのではなく私たちが主体的に行おうと考え、市民が参加することにより地域を豊かにしよう



うとつくったしくみが福祉基金です。

福祉基金はどんなことに使われているの？

意志ある組合員（賛同者）が毎月拠出する100円からなる福祉基金は、7割を生活クラブがすすめる福祉事業・活動へ拠出し（子育て支援親子ひろば、小学生の居場所づくり、介護や介護予防に関わる企画等）、3割を地域で福祉活動をすすめる個人や団体へ助成します。また、今後展開していく多世代の居場所づくりへの拠出も検討しています。

助成の意味
審査を通して見えたこと

福祉基金の3割を生活クラブ以外の個人や団体に助成する意味には、大きく二つあります。一つめは、私たちがめざす豊かな地域社会をつくっていくため



子育て支援親子ひろば
ほっとたいむ そうえん

には、地域の中に自分たちで地域の課題を解決しようという市民参加型福祉の主体を増やすことがとても重要だということ。二つめは、地域の課題をみな目の見える形で示すことです。今回は22団体からの応募があり、2月の福祉基金運用委員会で13団体に決定しました。人のつながりをつくることで地域社会を良くしていくと活動している団体がたくさんあり、市民参加型福祉の主体を増やすことが地域を豊かにすると実感しました。福祉基金の賛同者数は約23%と伸び悩んでいます。基金が大きくなれば可能性も広がります。組合員のみならず、一緒に福祉基金賛同の輪を広げていきましょう。

2024 年度 生活クラブ福祉基金 助成先一覧

No	団体名	助成内容	所在地	助成額(円)
1	化学物質過敏症・電磁波過敏症の生活を考える会	学習会の企画開催費用	札幌市西区	50,000
2	グリーンサポート SaChi	「ワンディプログラム」の開催費用	札幌市中央区	170,000
3	NPO 法人 子育て応援かざぐるま	子育て応援ブックの作成費用	札幌市中央区	300,000
4	栄ヶ丘地域連携創造倶楽部	子ども食堂、学習支援の開催費用	札幌市東区	112,000
5	NPO 法人 ちいさなおうち	サロン利用拠点の手すり取り付け費用	札幌市西区	90,268
6	NPO 法人 ナルク札幌手稲わいわい！	活動時に使用する物品購入費用	札幌市手稲区	50,000
7	花と緑の EGG（エッグ）	園芸福祉活動を行う際の備品購入費用	札幌市清田区	64,000
8	一般社団法人 WHO CARES	地域での交流を推進する事業のイベント費用	札幌市北区	140,000
9	フリースクール ひとのわの会	フリースクール施設の備品購入費	恵庭市	137,880
10	ユアセル	居場所開設のための備品、広報費	札幌市中央区	117,870
11	子育て支援ワーカーズ ぽぽら	新規立ち上げ費用と広報イベント費用	札幌市中央区	299,988
12	労働者協同組合ワーカーズ・コレクティブ まどり	弁当用容器の購入費用	札幌市中央区	68,750
13	ワーカーズ・コレクティブ レラ	新規事業にかかる設備費用	札幌市手稲区	278,995

報告

30年間ありがとう！

さようなら るくす集会

地区館るくすが閉館しました



30年前、地域運動の拠点となる生活クラブの地区館2号として手稲区にオープンした「るくす」。施設の老朽化をうけて話し合いを重ね、次



景品が当たるジャンケン大会は真剣勝負！

のまちづくり拠点へ進むことにしました。3月20日に最後の集会を開催。これまでの活動を振り返り、手稲支部らしく歌って・踊って・食べて・話して、「るくすを使わせてく



みんな笑顔で踊ってフィナーレ

れてありがとう！」の感謝が溢れるものでした。「るくす」は、まちづくりの主体をつくってきたと実感しました。

主催 手稲支部地域連絡会

本ページに記載しているイベント等については、生活クラブニュースを見て、参加申し込みをしてください。

問合せ 生活クラブ本部 TEL 011(887)8891

<https://www.hokkaido-seikatsuclub.coop/>

※3月号表紙の文章4行目、正しくは(株)平田牧場です。訂正してお詫びいたします。

講演会

知ることが大切！ 遺伝子操作食品

日時 5月18日(土) 10:00～13:00

場所 札幌エルプラザ 2階 環境研修室

(札幌市北区北8西3)

内容 講師は「遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン」代表でジャーナリストの天笠啓祐さん。環境への影響や食の安全を脅かすゲノム操作・遺伝子組み換え食品について、基本や現状を話してもらいます。託児あり。

ニュース

4月3週

主催 本部消費委員会

報告

チュプモニター会議

機関誌『チュプ』は、生活クラブの基本的な考え方や主要な課題などを題材に、組合員へわかりやすい誌面となるようモニター制度を取り入れて作成してい



生活クラブ本部会議室

ます。3月11日におこなった年1回の会議では、毎月意見や感想などを寄せてくれている3人の組合員とともに1年間を振り返り、誌面への意見や工夫を共有しました。生活クラブの活動の取り組み意義など話題は尽きず、貴重な時間となりました。

主催 広報委員会



いっしょに学ぶ場をつくるには？

恵庭支部 勝又 みさ都

娘の小学校入学の前年、教育委員会から封書で支援学級をすすめられました。「うちの子はいいところがある。なぜ誰かが決めるのだろう?」と思いました。勉強会をしたいとママ友達10人に呼びかけると「子どもの預け先がないから難しいかな」とのお返事。私は小学校に手紙を書き、「いっしょに学ぶことについて勉強会をしたい。同じ町にそんな高校生がいるので呼びたい」と一枚の書面にして、スリッパで廊下を歩き校長室のドアをノックしました。今伝えないと助けてもらうのが当たり前の生活が続くと思うと必死で、何を話したのか覚えていませんが、校長先生から「本校でやりましょう」とのお言葉。外に出ると雪で汗がスーツと引いていきました。

当日、娘と学校へ行くと、教頭先生がスリッパを30足並べてくれていました。幼稚園から8人の先生、職場の協力でオンラインからママ友達が参加してくれました。以来、障がいのある子と家族が学ぶ場所を自分で決める、それを後押しする活動を続けています。

組合員のエッセイを募集します。400字程度。テーマの指定はありません。本部川瀬まで、ファックスか業務便で送ってください。



道産 間伐材使用
道産間伐材を配合した紙を使用しています